（明治四十一年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報

朝刊　朝夕刊共八頁

社説　英米蔣軍の運命

ビルマより雲南省境を突破せる我が皇軍は、さる六日畹町に進出、他の一隊は八日ビルマ奥地ミイトキーナに突入これを占領し、重慶と米英の連絡路を切斷するに至つたが、更に雲南省境突破の部隊は引き續きビルマ公路に沿うて進撃を續け、さる十日には騰越を占領するに至つた。騰越はいふまでもなく滇緬鐵道の終點ミイトキーナ及び北部ビルマの要衝バーモからビルマ公路に通ずる二國路の相會する要衝に當つてゐる。從つてこれを皇軍が占領したことはさきの龍陵占領と相俟つて二本の援蔣ルートを完全に窒息狀態に陷らしめたものであつて、支那事變以來、西安ルートと共に唯二つの援蔣輸血路として、その確保に懸命であつた重慶としては、眞に文字通りその死命を制する重大危機に逢着したものといふべく、彼らの打擊たるや深刻極りなきものがあると豫想せられる。

大東亞戰爭勃發以來、陸海空に亘る赫々たる戰果を收め、これに反して米英側が連戰連敗を重ね逐日その勢力は東亞より驅逐せられつゝあり、殘る所はビルマ、印度の防衞線のみであつた。然るに今やビルマの英米蔣聯合の防衞作戰も、皇軍の前にはひとたまりもなく潰滅し、皇軍の精鋭は前記の如く雲南省深く突入して戰果を擴大中である。一方西部北上部隊もまたイラワヂ河の支流チンドウインに沿うて進擊し、十二日には既に印緬國境に近いカレワ附近に殺到し、英軍の主力を擊滅、目下その殘敵を掃蕩中であり、更に十六日には我が陸鷲は大編隊をもつてアラカン山脈上空を突破して遠く印度アッサム州インパールを爆擊多大の戰果を擧げてゐる。かくの如くビルマ全土が我が手中に落ち日印度洋の制海權を掌握、確保してゐる以上、もはや今日においては如何に米英が必死の防戰に努めようとも、到底この皇軍の破竹の進撃を喰ひ止め得るものではなく、當然次に來るべき印度の運命は、既に決定したといふも過言ではない。一方重慶側の前途もまた、多大の恃みをかけてゐたビルマルートを完全に押へられた今日ではすでに、米英の援助は思ひもよらず、米英それ自身が東西において重大危機に直面してゐるのであるから、重慶としては獨力をもつて抗戰するほかに手はないのである。西安ルートとしてもソ聯の態度が現在の如くである以上これに期待にかけられず、更に内面的には抗戰力の低下、財政窮乏、一般民衆の生活苦、將兵の戰意沮喪等による反戰和平思想の浸潤、加へて虎視眈々として重慶政權の崩壞を狙ふ共産黨の策動、或は中國新政府の飛躍的最近の發展等々、軍事、政治、經濟各方面に亘り重慶離反の情勢は日々濃厚を傳へられてをり、今や重慶は事變勃發以來最大の危機に當面するに至つた。今後重慶が如何なる道程を辿るか、當然沒落の一途を辿るべきは必定で、地方小政權として僅かに餘喘を保つか、さもなければ新政府に屈服し來るか、米英は暫く措くとして重慶最後の運命はすでに極まれりといふべきである。

ポートモレスビー増援中の敵機擊滅
米新鋭機十二を擊墜
海鷲、連續猛攻擊の戰果

【○○基地十八日同盟】珊瑚海々戰の頽勢挽回を圖らんとして濠洲方面よりポートモレスビーに向け増援中の敵機軍に對しわが海鷲の精鋭は連日にわたつて猛攻擊を續行、去る十二、十三、十七の三日間に敵機十二機を擊墜、六機を擊破する戰果を收めた、即ちポートモレスビーに敵増援部隊ありとの報に勇躍基地を出動した海軍航空部隊は五月十二日米國の新鋭戰鬪機P三九（エアラ・コブラ）三機を擊墜、二機を擊破し、翌十三日にもP三九を四機擊墜したほかマーチンビー二六爆擊機一機を擊破さらに十七日にもまた〳〵P三九戰鬪機六機を擊墜、三機を擊破、其他敵軍事施設の大部分を爆破し大損害を與へた、なほこの三日間にわたる戰鬪でわが方の損害は未歸還機四機である

勅使御差遣　金子伯邸へ

【東京電話】畏き邊りでは樞密顧問官大勳位金子堅太郎伯爵去の報に深く御心痛あらせられ、天皇陛下には十八日午前十一時勅使として戶田侍從を、皇后陛下には同十分御使として小倉事務官を、また皇太后陛下には同二十分西事務官をそれ〴〵麴町區三番町の金子伯邸へ差遣はされ御弔問せしめられた

近衞公らに賜餐

【東京電話】天皇陛下には十八日正午豐明殿に出御、三笠宮殿下御陪席のもとに攝五攝家の近衞、九條、一條、鷹司各公爵、二條公爵、（以下判讀困難）等に賜餐を仰付けられ、終つて竹ノ間において御茶を召されつゝ種々御歡談を賜ひ午後一時過ぎ入御あらせられ一同光榮に感激しつゝ退下した

わが猛爆に無殘にも破壞されたビルマの舊總督官邸＝一メー軍提供

印度要衝バダルプールシルチャルの敵陣大混亂
陸鷲、初の奇襲を敢行
敗敵滿載列車に命中彈

【ビルマ前線○○基地十八日同盟】全ビルマの制空權を掌握したわが陸軍航空部隊は、十八日午後印度からの援蔣路の要衝バダルプール（インパール西方百二十キロ）シルチャル（インパール西方百キロ）に初空襲を行つた、すなはち梁崎、握美、見玉、吉川の各部隊は、十八日○○基地を出動折柄の分厚な積亂雲を冒して、アッサム州のバダルプールを急襲、停車場倉庫群に巨彈の雨を降らせてこれを爆碎炎上せしめた、又一方北島、大浦、草苅の各部隊は同日シルチャルの停車場を奇襲、敵敗走部隊を滿載せる列車に命中彈を浴せ敵を大混亂に陷れた、今や敵は我連日の猛爆に戰々兢々としてなすところを知らず極度の狼狽振りを示してゐる

交戰敵兵力廿二萬
遺屍、捕虜ともに一萬數千
四月中、北支綜合戰果

【北京十八日同盟】北支軍發表＝四月中における北支軍綜合戰果、軍は三月末以來展開されし第四次治安强化運動と併行し北支全地區にわたり圓滑なる粛正作戰を實施せり、その綜合戰果次の如し（括弧内は前年同月分を示す）

交戰回數千三百五十四（千七百二十三）
交戰敵兵力（延數）二十二萬五千四百三十七（廿四萬九千三百九十二）
遺棄死體一萬四千三百六十二（一萬一千三百四十三）
捕虜一萬六千四百九十二（二千八百十二）主なる鹵獲品

輕機關銃七十七、山砲二、迫擊砲五十四、重機關銃十三、輕機關銃七十七、小銃一萬四百五十二、手榴彈六萬八千百十五、各種彈藥六十五萬五千、右のほか歸順又は投降九十二件、二萬九千二百八十八人（一萬三千九百七十七）

如實に示すものなり、四月中に實施せられた主なる作戰は冀東地區におよび戰果にみる捕虜の著るしき增大と相俟つて敵陣營の動搖を冀察熱共産軍に對する剿滅作戰、山東半島海軍協同作戰、冀魯豫邊區共産軍および蔣系高樹勳軍に對する黃河々畔作戰を擧げ得、又孫良誠將軍が四月二十二日和平通電を發して和平陣營に參加するに至れることは抗戰目的の喪失に低迷せる敵軍特に傍系軍に深刻なる打擊を與へたるものといふべし

東久邇大尉宮殿下御歸還

【東京電話】畏き御身をもつてバタアン半島コレヒドール要塞攻略戰に御參加赫々たる御武勳を樹てさせられた陸軍大尉東久邇宮盛厚王殿下には十八日午後二時二十五分東京驛着特急富士で御歸還、陸軍教育總監部附平田中將その他、ならびに宮家から松本、一原兩別當の御出迎へを受けさせられ御歸邸遊ばされた

早くも新建設
中條山脈一帶朗色蘇る

【太原十八日同盟】小久保、田邊、伊藤、大津、杉山、上田、松崎、木野の各精鋭は十五日夕刻までに馬蹄村を中心とする共産軍蠢動の餘燼を完膚なきまでに擊摧十六、七の兩日は各部隊とも反轉掃蕩戰を展げ細雨をついて掃蕩戰を續行、同地帶の中共軍に文字通り壞滅的大打擊を與へた、かくて百廿九師長劉伯承麾下が猛威を恣ままにしてゐた馬蹄村、南晋上、南北窰、南北など中心とする沁河、河合などの中條山脈地區一帶には再び朗色が蘇へり早くも新建設が進められてゐる

伊首相　緊急會議を招集

【リスボン十七日同盟】ロイター通信ベルン（スイス）電は、ベーゼラー・ナハリヒテン紙特派員の報道として、ムソリーニ伊首相は、十八日ベネチヤ宮においてファシスト黨全國評議會緊急會議を招集重大決定を行ふこととなつた旨報じてゐる

ドゴール派連絡將校任命

【リスボン十八日同盟】メルボルン・ロイター電によれば、ドゴール派の太平洋總監デリー・ダルジャンリユー少將はベルナール・ラボルト中佐を西南太平洋反樞軸聯合軍司令部附連絡將校に任命した旨十八日發表した、ドゴール派の軍隊は目下ニューカレドニヤにおいて米英軍に協力してゐる

日の丸大行進
比島官民の祝賀大會

【マニラ十八日同盟】世界戰史に輝くバタアン半島、コレヒドール島の陥落を祝ふバルガス比島行政長官主催の皇軍大捷慶祝大會は十八日朝盛大な旗行列によつてその幕を切つて落した、この日午前九時半大マニラ市の目拔きヘレナル・ルナ街を出發した バルガス長官をはじめ各部長官ならびに一般市民は手に手に日の丸の旗をうち振り歡喜に沸き返る市中を堂々行進、ルネタ廣場においてバルガス長官は全會衆を代表して列席の本間最高指揮官ならびに海軍○○最高指揮官に對し感謝の敬禮を行ひ次で警保局音樂隊の君が代奏樂裡に日章旗はセルヒン書記官長の手によつて掲揚された

前途に輝く光明　バルガス長官の祝辭

【マニラ十八日同盟】バルガス比島行政長官は十八日午前皇軍の全比島鎭定慶祝大會席上左の如き祝辭を述べて全比島民の感謝と祝意を披瀝した

本日輝しき軍事的成功特にバタアン半島の戰勝およびコレヒドール島占領に對する歷史的祝典において私は比島民を代表し滿腔の感謝を捧げたい、この勝利の意義はわれ〳〵に歡びと嚴粛な氣持を覺えさせ、と進步と繁榮が特にわれ〳〵を訪れんとしつゝあり、衷心より感謝に堪へぬ、今回の勝利はまたわれわれの前途に光明を與へてくれた、それはこの偉大なる大日本國民と民族的因緣を身近に感じたことである、比島の地理的關係は完全に大東亞の自然的領域である、過去四十年間西洋の甘言に追隨してわれ〳〵は實に不幸の道を辿つて來た、しかし祖先から享け繼いだ東洋精神を喪すことは出來ない、今やわれ〳〵は民族として長い冒險的旅行の末、目を東洋に向けねばならぬ時期に到達したのである、日本の力強い指導の下に比島本來の道に立ち戻らねばならぬ時が來た、而しわれ〳〵の直面する仕事は實に重大である、曾ては繁華な生命の躍動してをつた多くの都市は米軍が退却に際して無謀にも破壞し去り島民は困苦と缺乏とに追ひ込まれた、幸ひに大日本軍の大捷によつてこの窮狀に光明がもたらされたのであるが、この勝利をして永續せしむるにあらざればわれ〳〵に與へられた新生活樹立のこの好機會もまた無意義に歸する、このためわれ〳〵は、民族性を弱める種々なる弱點を匡正し、大日本軍によつて示された國民的理想を追究し理解に努め傳統と理想に關し實際上の必要と進步的生活のことを調和することを絶えず心に大東亞共榮圏の有力なる一環にふさはしい新比島建設をなさねばならぬことを確信するものである

翼政總裁阿部信行大將
勅選議員に任ぜらる

阿部大將

【東京電話】情報局發表（十八日午後五時卅分）政府は本日の持廻り閣議に於て阿部信行氏を貴族院議員に勅任せられるやう奏請することに決し直ちに上奏御裁可を仰ぎ左の通り發令した

從二勳一等　阿部信行
貴族院令第一條第四號により貴族院議員に任す

阿部大將略歷

【東京電話】阿部信行大將は昭和十四年八月廿八日平沼内閣退陣の後をうけて複雜多端の政局を擔當すべく組閣の大命を拜した、大將が政界における巨大な存在として登場して來たのはこの時である、平沼内閣を挂冠せしめた複雜怪奇な歐洲の緊迫せる情勢は遂に第二次歐洲大戰の勃發となり阿部内閣は所謂對歐策に苦慮の結果當時の國際情勢下におけるわが國の立場を最もよく顯現した不介入方針を決定したが、翌十五年一月僅か四ケ月餘りで總辭職の已むなきに至つた、その後同大將は間もなく日支國交調整の大任を帶び特命全權大使として南京に使し次いで同年七月歸朝、爾來重臣として政界に隱然たる勢力を保持し本年三月翼贊選擧の執行に當つては翼贊政治體制協議會の會長におされ推薦候補の推薦を行ひ、選擧後は翼贊政治體制の基礎を確立した、總選擧後翼贊政治結集準備會員として翼贊政治會の結成に參畫し政府當局と三位一體を形成する新政治體制の確立に重大なる使命を果した

重點主義更に强化
半島産金と特殊鑛物の增産
信原事務官　東京で語る

【東京特電】上京中の總督府信原事務官は半島産金政策の强化並びに特殊鑛物の强力增産等の問題につき左記の如く語つた

現在既に重點主義となりつゝある産金政策は今後一層强化さるべきは言ふまでもない、金と共に、銅、鉛、亞鉛等を多く産出する金山及び特殊鑛石の豐富な優秀鑛山に對しては特に資材の供給並に割增金の增加、其他助成の方策が講ぜらるゝこととならう、勿論半島の中小産金事業は特殊鑛物の發展を促し朝鮮の鑛業界に貢獻してゐることは實に大きく中小金山に對する政策は産金量の現狀維持といふ點から決して閑却するものではなく又變更された譯ではない只戰時經濟界においてこのやうに重點主義化を强化されることは已むを得ぬことであらう

螢石　ニッケル、コバルト

等時局下に缺くべからざる特殊鑛物は今年度の鑛物關係生産擴充に最も重點が措れるものでこれ等はどれだけ增産するかは物動計畫に最も重大な影響があるので極力增産に努める考へである、勿論輸送力を考慮して原鑛石を相當程度に選鑛する積りであるが、增産經營者の狀態、資金の關係、技術者の能力等を睨み合せて改善すべき點は大に改善せしめる考へである

内地

における鑛山統制會に朝鮮が加入すべきか何うかの點については同會の性格、機構等をはつきり見極めてからでもおそくはないと思ふ

事務合理化で税關職員減員

（判讀困難）

＝人＝

水田財務局長　調會出席の爲十九日午後一時五分京城驛發東上
龍山氏（名古屋東亞新聞常務）十八日「あかつき」で入城、朝鮮ホテル

總督府辭令（十六日附）

（判讀困難）

翼贊會、機能刷新
機構擴充の前提
新總長に後藤文夫氏

【東京電話】政府は去る十五日の閣議において大政翼贊會の機能刷新方針を決定し大政翼贊會は國民組織確立の推進中核たるの實を一層發揮するため、各種國民組織をその傘下に統合收攬することゝしこれがため翼贊會機構に必要なる改組を加へる旨を發表したが、右翼贊會の機構擴充刷新の前提としてまづ左の如く事務總長の更迭を決定、十八日午後五時發表した

事務總長を命ず　後藤　文夫

總務局長事務取扱を命ず

事務總長　後藤　文夫

事務總長、總務局長事務取扱を解く

横山　助成

後藤新總長略歷

改組翼贊會の新事務總長後藤文夫氏は大分縣出身で本年五十九歲、東京帝大卒業後内務省に入り青森縣警察部長、内務省警保局長を經て大正十三年台灣總督府總務長官に轉じ伊澤總督の下で總務長官を勤め昭和五年貴族院議員に勅選された、其後昭和七年齋藤内閣成立するや農林大臣に就任したが退職後は大日本青年團長として青年指導に熱を傾けた、次で岡田内閣成立の際には組閣參謀を務め内務大臣の重職に坐つたが、二・二六事件發生して野に下つてのちは革新官僚のリーダー格として行動を注目せられ、選擧肅正運動に努力する傍ら防空協會々長としても貢獻した、昭和十五年九月翼贊會誕生と同時に常任總務として翼贊運動の最高指導部に列し、昨年九月には末次大將のあとを襲つて中央協力會議々長となり、一億代表の衆議を綜覈し名議長ぶりを發揮した、また今回の翼贊政治結集準備會が結成されるや特別委員會の座長となり新政治體制確立に寄與するなど活躍した、元農相石黑忠篤、元内相河原田稼吉、前衆議院議長田子一民氏らとは大學の同期生であり官僚出身の政治家として重きをなしてゐる

使命愈よ重大
新舊事務總長談話發表

【東京電話】翼贊會事務總長更迭に際し後藤、横山新舊總長は十八日左の如き談話を發表した

後藤新總長談話

今回はからずも大政翼贊會事務總長の大役を仰せ付つた、翼贊會にはその發足當初から總務としてまた昨年九月から中央協力會議々長として關係してゐたので縁故は淺からざるものがあるが、この度翼贊會が政府の方針により再出發することゝなつた際に不敏なる私にかゝる大役をお引受けして果して充分なる成果を擧げ得るか否か解らない、しかし私としては全力を盡して事に當る考へである、國民各位も既に御承知の如く先般の翼贊選擧により翼贊政治體制確立の諸般の國内體制も夫々大東亞戰爭完遂の大目的達成に向つて整備強化されつゝある、この秋に當り翼贊會の使命はいよ〳〵重大さを加へるのを痛感する、幸ひに各方面の協力を得て翼贊運動の完璧が期せられんことを祈念して已まぬ

横山氏辭任の言葉

昨年大政翼贊會事務總長に就任以來五ケ月、實際これといふ仕事も出來ずして本日その職を去るは洵に慚愧に堪えない、しかし大政翼贊會は今回の翼贊選擧を機としてこゝに一大躍進を遂げることゝなり眞に國民運動の中核體として國民の興望を擔ひ輝かしき再出發をすることゝなつた、今後は政府および議會とますます連絡を密にし提携を堅くして所謂三位一體の政治の新體制を築きあげ、一は國民……

建國會等翼贊政治會に合流

【東京電話】多年政治結社として活躍して來た建國會（會長赤尾敏）および大日本黨（總裁佐々井一晃）はともに翼贊政治會に合流するため政治結社散解届出を提出するとともに思想團體として存續することになつた、また思想結社として活躍してゐた大亞打開期成同盟（主幹満井佐吉）も翼贊政治に合流するため同樣結社散解手續をとつた

翼政役員、總裁から指名發表

【東京電話】廿日創立總會を擧げることになつた翼贊政治會の役員は當日推擧されて總裁に就任する阿部大將より指名發表されることになつてゐるが、當日決定發表されるのは本部總務、事務局長、會計監督で殘餘の院内機關その他は新役員會の議を經て追つて總裁より指名發表されることになつてゐる

……組織完成の實を擧げ官民朝野が一丸となり全力を傾けて進んだならば大東亞戰爭の完遂も難事でないと確信する、加ふるに今日後藤文夫氏を事務總長につた、時と人とを得た今後の飛躍こそ……べきものあり……

興銀資金計畫成る

【東京電話】興銀は本年度貸出し増加豫定額を約十億圓と睨み過般來右資金計畫を考究中であつたが各種金融機關に對する興業債券特別割當制を中心として所要資金調達に一應の見通しを得るに至つたすなはち興銀業務のうち命令融資に該當するものは戰時金融金庫の發足により今後多少減退すべきことも豫想されるが、一般生擴のための固定貸付、時局共同融資團の活動に伴ふ同行貸出額の増大、さらに計畫造船の推進に伴ふ船舶保有資金（從來の造船資金）の貸出しも飛躍的増勢を辿るものと見られるため、本年度における同行の資金放出額は大體十億圓突破が確實視されてゐる、しかして一方各金融機關に對しては公債ならびに各種債券、社債消化が積極的に推進されるためこれらとの調整をはかるが、興業債券消化對策は愼重なる考慮を要する、結局各金融機……

道義の理念と徴兵制度
尾高朝雄

【寫眞＝城大教授尾高朝雄氏】

日本は道義の國である。道義は建國の理想であり、國史二千六百年を一貫する大精神であり、したがつてまた今日の大東亞戰爭の指導理念である。故に、道義を離れて日本の精神を語ることを得ず、道義の確立に邁進せずして日本國民たるの資格はないといはなければならない。

しからば道義とはいかなる理念であらうか。私はこれを以てその字の示す通りに、道徳と正義とを結んで一體と爲した精神であると解する。道徳の理想は和である。和を以て貴しと爲すところの日本精神は、もとより道徳の眞髓に徹する。しかしながら、日本道徳にいふ和とは決して無理が通れば道理引つ込むといふやうな退嬰無氣力の平和ではない。

それは、飽くまでも正しい道理を基礎として築き上げられた共存共榮・協和友好の人間秩序である。それ故に、理をまげて徒らに和んぜず、與民不義の非理を敢て向かうとする者があれば、最後には毅然と起つて一切の障碍を實力を以て排除せんとするのも、また日本精神の一面でなければならない。そこにはゐるけれども、兩者を綜合するところの道義に至つては、正に日本武き日本の正義が存する。彼の和とこの武とを打つて一丸としたものが、すなはち日本の道義に他ならないのである。本獨自の理念であるといふことができる。

◇

元來、道徳と正義とを別々に切り離して見るならば、兩者は共に日本の專賣特許ではなく、又、東洋にのみ存する譯でもない。西洋の思想にも、勿論、道徳がありる正義が存する。しかし、西洋の精神に在つては、道徳と正義とが互に遊離して、決して日本におけるが如く渾然たる一體を成してはゐらない。いひかへると、西洋では道徳が發達し、正義が唱へられ……

西洋で最も純粹に道徳上の和を説いた者は、キリストである。キリストは、「惡しき者には抗ふな、人もし汝の右の頰をうたば、左をも向けよ。汝を訟へて下衣を取らんとする者には、上衣をも取らせよ」といつて無抵抗主義の平和と、敵をも愛する人道主義とを提唱した。しかもその反面また、西洋には古來マイト・イズ・ライトといふ言葉があつて、實力を以て事を制する者の意志は、そのまま法となり、正義として行はれるものと考へられてゐる。

西洋で最も發達した法律はローマ法であるが、古代ローマ法では、異邦人から力づくで奪つた物は、原奪者の正當な所有に歸すると認められてゐた。實力思想と、キリストの無抵抗主義の平和思想とは、互に相容れ得ざる對蹠の二つの精神として對立してゐる。

かやうな對蹠的の二つの精神が、その互に對立したまゝの形で併用するとき、平和主義の、實力的な侵略主義を瞞着する巧みな役割を演ずる……

金貨の山百萬ドル

寫眞は昭南島海岸で引上げられた金貨の箱――（陸軍報道部檢閲濟）

わが潜水艦、印度洋を征く（中）
艦内は四六時中“夜”
最小限度の人間生活

【〇〇基地十六日大石海軍報道班員發】潜水艦はおよそ生々たる海原を靜かに潜る。だが一歩艦内に入れば戰の前の凄然たる雰圍氣が漲つてゐるのを見る。……ケ月といふものは入浴など縁なきことである。極度に水を節する浴水……猪口一杯の水とてかりそめに使はない。洗面したり口をすゝいだりするのさへおつくうになる……つける熱氣に汗の臭氣は充滿……のも當然至極である。五體を富……をおいてわづかな睡眠時……心ゆくばかり熟睡を懸命に……るが汗はまるで滝流のやう……ら頭から全身をつゝむ……

艦内の温度は卅八度から四十五度にまで上昇する、……は全く熱湯といつた言葉……たり當はまる。文字通りの……所が垢で眞黒になつた皮膚から……

容赦なくにじみ出る、而も一切は外氣からきり離された艦内である、艦内と外氣とをつなぐものと云へば艦橋のちつぽけなハ……

ものゝ微塵も攻勢を鈍らせることのない油虫群はすごい繁殖率をもつて乘員を惱ます、これにさらに……公の活躍が一叔加はつて來……

所札であらう。喫煙は艦内にある限り許されない、きれいな空氣も吸ひたくも吸へない、こんな時交替で與へられる休養札は勇十から……

一粒の米には農家の汗が百度掛ると言ふ
イーストをのめば肉付を増し病衰體は回復す
完全消化なら粗食でも見事に肥る

米粒の拡大圖

むかしから、日本人の心は、米を尊んでゐる。一粒の米が吾らの口に入るまでには凡そ百回の勞苦が農家の手で繰り返されると謂へられてゐる。

米食の排泄物は肥料價が極めて低いと言はれてゐる。それは前の反對で攝取した米飯も副食物も完全に消化吸收され、排泄物は全くの殘滓のみだからである。

その（一）

貴重なる米の飯も、たべる人の胃腸の機能が鈍つてゐる場合は、ホンの僅少なる分量が榮養分として人體に吸收されるにとどまり大半は空しく排泄される。

尾籠な引例にて恐縮だが、農學專攻家の發表でも、健康者ぞろひの兵營あたり……

イー（一）

イーストなる微生物製劑をのむと、胃腸の機能が順調になり旺盛になつて、消化力吸收力は著しく增大する。だからイーストを常用してゐると別に特別なる榮養食を求めなくても體重が增加して來る。この榮養力の充實は衰弱體の治療に向つて……

一番に有益な自然的挽回方法である事は論を俟たない。

イーストは二圓五圓の菌價で有名藥店百貨店藥品部にあり

服菌

希望者は都會地は備へ付けの藥店百貨店多くドコでも求められますが、若し切地方は御手數でも『日報』で見た旨記し左記直配部に御替かカハセで御注文下さい。菌價は約二十日量金二圓と約二ケ月量金五圓にて送料不要。『但し外地は定價内地の二割增にて直送は送料五十錢を要す』

新鮮込菌所　京城府黄金町一丁目六六　イースト菌　京城學術部　振替京城一〇三二九番

研究培養　京都府宇治町　マルキイースト菌研究所

商業及法人登記公告

皇紀二千六百二年　昭和十七年五月十九日（火曜日）
京城日報　夕刊
（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）

インパール連續爆撃
敗殘軍にも巨彈集中
荒鷲印緬國境に活躍

ビルマ特電【十六日發】我が戰爆聯合の陸軍大編隊は十六日午前十一時〇〇基地を離陸アラカン山脈上空の積雲を突破して印度アッサム州インパールを空襲、ビルマ方面に旋回して〇〇で集結した敵部隊に猛爆を加へ兵員、資材などを滿載した自動貨車群を粉碎して潰滅的打撃を與へると共に殘存軍事施設に巨彈の雨を降らせて全機無事歸還した

ビルマ要人殘留
我方に保護方を申出

【ラングーン十七日同盟】去る三月二十日皇軍ラングーン攻略必至と見た在ビルマ英當局はビルマ人閣僚その他の要人を北部ビルマの避暑地メイミョウに移轉せしめ、さらに四月二十日には英當局はこれらビルマ要人に對し印度へ逃走のうへ亡命內閣を組織することを强要した、しかるにビルマ要人の大部分は身をもつて英當局の執拗な魔手を逃れ、マンダレー附近に潜伏去る一日の皇軍マンダレー入城とともに保護方を申出るに至つたのである、イラワヂ河を挾んでマンダレーの對岸にあるサガインその他でわが方に保護されてゐるビルマ要人は左の通りである

內務大臣ウエー、文部大臣ウバイン、國防參議員ウモンヂー、辯護士會々長ウペンモ、元農林大臣ウボペン、元文部大臣バーイン、上院議長モンヂー、司法大臣ソーペータ、厚生、工商大臣ウタラロチーモンモン、商工大臣ウバオン、農林大臣ウエイン、ウバタン

一方ウ・ノン・アンジヨ藏相のみはともに家族同伴で去る廿日前後にマンダレー北方シユエボ經由英當局とゝもに印度へ亡命した

佐藤大使、ビ次官と會談

【クイビシエフ十七日同盟】佐藤大使は十七日午後一時外務人民委員部にビシンスキー次官を訪問會談した

印度國境線に敗退
英ビルマ防衞軍自認

【ビシー十七日同盟】ビルマ防衞に敗れた英軍はチンドウイン河西方の印度國境線に敗退したが、アバス通信に入つたニューデリー電によれば英國側は十七日ビルマ防衞英國軍司令部の名をもつて左の如く發表、その敗戰を糊塗せんとしてゐる　ビルマ防衞英國軍は今やチンドウインの西部に撤退して陣地を設けた、しかし前線においてはなほ敵と交戰中

英に炭坑罷業

【ベルリン十七日同盟】デーエヌベー通信アムステルダム十七日來電によればイギリスのダーハム、（イングランド東北部）地方のエモレア炭坑で運搬人夫の罷業が勃發し、このため採炭夫は作業不可能に陷つたといはれる

比島方面の完敗
米、澁々と公表
"强力日本軍に勝てず"

英、アジヤを退場せよ
ガンヂー翁言明
英支持不可能

ガンヂー

【リスボン十七日同盟】ロイター通信ボンベイ電によればガンヂーは十七日發行の週刊機關誌ハリジヤン誌上において『イギリスよ、印度から手をひけ』と次の如く書立てゝゐる　余は今日こそイギリスがアジヤおよびアフリカの全領土から退場すべき時期であると呼びかけるものであるが、余のかゝる呼びかけに對して總てのイギリス人が支持を與へんことを希望する、イギリスがインドとアフリカを失つたからといつて戰爭がイギリスに齎す犠牲に比べるならば物の數ではない

【ビシー十七日同盟】アバス通信ボンベイ電によればガンヂーは十七日新聞記者團との會見において左の如く對英支持不能を言明した、從來英國が印度に對し採り來つた行動は常に余に痛憤を與へるだけだつたのであるから余は遺憾ながら英國を道德的見地より支持することは出來ない、余にとつては今回のクリップス特派使節の活動には殊のほか意外とすることが多かつた

三萬噸級佛戰艦
竣工近く試運轉の運び

各所で英蔣軍を殲滅

シヤン山脈溪谷に架橋作業の工兵隊（ビルマ戰線）（陸軍省檢閲濟）電送

獨軍の反撃漸次奏功
ハリコフ地區　赤軍困難自認

チユーリツヒ特電【十七日發】ハリコフ地區における戰鬪はソ聯の猛攻とドイツ軍必死の反撃にかつてなき立體的大激戰を展開してゐるが、各地の情報を綜合するにドイツ軍の反撃は漸次功を奏してその勢ひを加へつゝあるもの如くである　モスコー放送によればソ聯紙レッドスターは十七日ハリコフ地區のドイツ軍は深さ二十五粁、長さ四十五粁に達する防衞陣を完成、更にその强化を示しつゝある旨を指摘してソ聯に取つてハリコフ攻撃の極めて困難なることを認めたことは頗る注目される

敗走の赤軍を猛追
ケルチ戰　獨軍赫々の戰果

ベルリン特電【十六日發】十五日ケルチ市及び同港灣を完全に占領せるドイツ軍は去る十三日發表のケルチ作戰第一次戰果に倍增する捕虜及び鹵獲品を獲得、赫々たる戰果をあげたが、目下なほ狹隘な陸路及び船舶により必死に退却中のソ聯軍殘敵を猛追中である、一方ドネツ戰で

赤軍對岸に敗退

【ベルリン十七日同盟】獨軍司令部十七日發表＝ドイツ軍はハリコフ東方のドイツ防衞陣地に猛攻を加へて來たソ聯軍に對し兩三日來激烈な反撃を敢行、漸次優勢を回復しつゝある

▲ケルチ半島方面　一、ケルチ半島の敵敗殘部隊は獨軍の猛攻により同半島の東端に追詰められケルチ海峽を越えて對岸に敗退しつゝあるが、獨空軍はこれに對し猛爆を浴びせ多大の損害を與へた
一、空軍はケルチ半島對岸にあるタマンスカヤを爆撃し各地に火災

ケルチの敗戰はソ聯に致命傷
英軍事評論家　春季攻勢に悲觀

ストツクホルム特電【十五日發】

米共産黨懷柔へ
服役中の前書記長減刑

苦境と戰つたビルマ在留邦人

愛孃の骨を拾ふ　哀れ・瘦せ衰へし母

獄中に擧げる結婚式

【東京電話】炎熱のもと強敵を屈服して皇軍はビルマに果敢な作戰を展開、その戰果は刻々と聞いてゐるが、この蔭に國民の腦裡を去らぬものはわがビルマ在留邦人の安否である。同方面○○宅救出部隊長は苦境と戰つた同胞の涙ぐましい面影を住民の語るところによつて記し、この程現地報道部から陸軍報道部に左の手記が寄せられた

昨年十二月米英との間に宣戰を布告せらるゝや英官憲は約百五十名に餘るビルマ在留邦人を監禁しラングーンの北方二百キロイラワヂ河に臨むティチミョーの獄舍に移送した、日本の運命を最後まで守り通すべく邦人には再び起つた人人の胸の中には今日あることをすでに覺悟のうへのことであつたらう百メートル四方餘りの二重に圍まれた鐵條網の中に木造建築の宿舍二棟、炊事場、便所など一通りの生活要素は設備せられてゐる、宿舍はその昔囚人を收容した建築を改造し、男子、女子とわけられてゐたらしい

細く區切られた扉の外に名札の散亂してゐるのを拾つて見ると家族者は二室を與へられ、他の者は一部屋五、六名づつ割當てられてゐたらしい、宿舍には一言の悲鳴に似た言葉もなく、一句の落書もない、如何にも合同一同敎養のある中にも日本精神に溢れた動作が窺はれる、爆跡にかへつた村民を訪ねて獄舍に立ち、これらの人々の收容當時の模樣を想像して見よう、待遇は相當英官憲も注意してゐたやうだ

住民の誰もが日本人は優遇せられてゐたことを立證する、この苦境にありながらも本國のための犠牲となるのを覺悟のためか一同は非常に元氣旺盛で毎日を協力一致この苦境と戰つてゐたらしい

そのうち涙ぐましい邦人の面影を住民の話そのまゝに傳へよう

獄中の結婚式

奇しくもまた戰時ならでは出來ぬだらう獄舍での結婚式、勿論住民のことだ名前はわからぬが廿歳の第一○○○孃と卅四歳の○○らしい、戰爭以前から婚約の間からではあつたのだが、兩人が監禁中にあげたこの結婚式こそ世にも意義ある結婚ではなからうか、海外の同胞はかくの如く強くそして物に動じない精神がよくわが運命を獲得してくれるのだと痛感すると共に固き決心で結ばれた兩人のうへに、幸あれかしと祈念せずにはをられなかつた

散り逝きし花二輪

一人は三歳の幼女である、今市内の墓地に土葬の跡も生々しく擬宿のまゝ埋められてゐる、その枕邊に黑塗の墓標が一本淋しくもまた淋しく建てられてゐる、この兒一人をこの土地に眠らして去らねばならぬ兩親の胸中を思ひ惡ろに回向して去つた

他の一人は十八歳の令孃だ、人生の花の盛りを待ちつつあつたで火葬に附されてゐる、翌朝瘦せ衰へた母親一人骨を拾つて持ち還へられたとか、火葬場現場は薪の殘りや灰骨が散亂し邊り構はず掘りとられた赤土の跡もまざまざと娘一人の最期を語るにはあまりにも悲慘な感じがする、遺骨は丁寧に拾はれたのだらう、拾ふべき何ものもない南國の灼熱した陽光が痛々しくも目にしむ

聞き憶まに生きて行く人と人、不幸にも皇軍のこの戰勝の響も知らず散つた人、ともに皇國のためにつくし得た人と申したい、このことが如何にわれわれを力ある皇軍を奮起させ躍進せしめてゐることとか

イラワヂ河を下る時のこの邦人達の元氣さはまたとなく叱咤なるものがあつたとか、この一言に悲しみなく憂ひも去つて日本人の行くところ大和魂のあるところ必ず爲すあるを知る、大和民族のこの限りなき壯途を偲びて自分も邦人の前途を祝福しつゝのびのびとした氣持になれるのだつた

戰亂の最中に如何に淋しくもたことだらう、彼女は熱病ひに故國を遙か離れて、しかも獄舍の一隅の黃泉の客とはなつたのだ、本人はもとより親の心境を思ふ時涙新たなるものがある

泣きながら親日ビルマ村民につて前記三歳の幼女の墓のあるがれ母親と共に日本人一人が……

攻略記念塔　ラバウルに建設

【寫眞】ラバウルに建設された攻略記念塔、芦部海軍報道班員撮影海軍省檢閲濟第五七一號

日本の海軍は神樣

救はれた一ビルマ人は語る

【○○基地石川海軍報道班員十七日同盟】三月初めカルカツタを出帆したイギリスの一汽船がイギリス軍隊の引揚げを行ふためスマトラ島メダンに向けて航行してゐた、メダンはまだ日本軍に占領されてはゐなかつたか、戰つてもとても戰へないと考へ逸早く逃げ出すつもりであつた、汽船は五日間の航海の後スマトラの北方ニコバル諸島の沖に達した、その時突然日本潜水艦から魚雷攻擊をうけた、汽船の船長、機關長その他船員は殆ど……

イギリス人であつた、ビルマ人の事務長と印度人の火夫とがそのなかにまじつてゐた、潜水艦の魚雷が命中し船が傾きはじめると五隻の救命ボートが下された、イギリス人達は先を爭つてボートに乘り移つた、ビルマ人の事務長は重要書類をボートに移しそれから自分も乘り移らうとしたところがイギリス人の船長はピストルを突き付けて乘艇を許さなかつた

そして多年一緒に暮して來たビルマ人と印度人だけが沈みゆく船に殘されてイギリス人の乘つた五隻のボートが逸早く逃げた實に人道も人情もイギリス人にとつては問題ではなかつたのだ殘された二人は急いで木片を寄せ集め應急の筏を造つて海上に逃れた

見る見る眼の前で彼の汽船は火煙りをあげて沈んでいつた、その沈んだ後にぽつかりと日本の潜水艦が浮び上つた、こゝで機關銃の攻擊をうけたら一溜りもなく彼等は死を覺悟し神に祈つた、日本潜水艦は靜かに筏に近付いて來た、そして艦上に立つた一水兵の手から一條の綱が投げ渡された、かくて味方であると思つたイギリス人に置き去りにされた二人は敵であると思つた日本の潜水艦に救助されたのであつた、三月十五日の朝わたくしは海軍の○○基地においてこのビルマ人と逢つた、感謝に輝く表情をもつて彼はわたくしたちに語つた

日本の潜水艦のなかでわたくしは全く自由でした、艦長はわたくしにたばこを與へられ、一杯のウキスキーさへくれました、わたくしはいま捕虜です、しかし捕虜になる前に比べていまの方がずつと自由でずつと幸福です、わたくしは水兵さんから服や靴や身の廻りのものをみんなもらひました、わたくしはいままでイギリス人のため隨分働きました、そのイギリス人がわたくしに何を與へてくれたでせう、ただ擊沈され冷酷に拔はれてゐただけでした、昨日日本の將校が遠からずわたくしを郷里のラングーンへ連れていつてやると申されました、ラングーンにはわたくしの妻子がゐます

ビルマ人の事務長はこゝまで語つてほろほろと涙を流した、わたくしがいふと有難うと繰返してわたくしの手を痛いほど握つた、それから十日ばかり後日本海軍は印度洋のなかに點々連らなつてゐるアンダマン諸島の上陸に成功した、またゝく間にこの島々を占領した、イギリス兵は逃亡し住民は歡呼の聲をあげて日本海軍を迎へた、この時住民と日本軍との間に立つて通譯の任に當り日本軍の行動に不便なからしめたものはかのビルマ人の捕虜であつた、かれらは誠に骨身を惜まず任務を勵み日本軍の司令官以下ことごとく忠實な努力に感心した、いまではもはや捕虜でなく日本海軍の通譯であつた

米軍、既に戰線へ

ルーズベルト言明

【ブエノスアイレス特電十五日發】……

路地からアイウエオ

パレンバン治安全く回復

【パレンバン（スマトラ）十八日同盟】皇軍進駐後二ケ月を經た南部スマトラの要衝パレンバンは皇軍の完璧と軍政官廳の活躍とによつて全く治安も回復平時にひとしい活氣ある狀態となつた、目拔の商店街や華僑街、インドネシヤ人の小賣店などは一軒殘らず開店、朝夕の涼しい買物時にどつと繰出す赤、青、黃、紫などの色とりどりのサロン姿の男女の群が一種異樣なスマトラ臭を醸し出す、道端たには焼鳥屋、煙草屋、飮物屋などが氣勢をあげて客を呼んでゐるとある雜沓の路傍で兵隊さんが熱心に見物してゐるのでなにごとかとのぞいて見ると高氣メッキ屋だ、『詰ったものとなつて三日で剝げるといふ代ろものだ』

ある店では兵隊さんが片言のマレー語で『イニ。アプパ』（これはいくらか）』とかなんとかやつて『バグス、バグス』（上等々々）と褒めちらした揚句『これは日本製だよ』と感心してゐる、時計、寫眞機、纖維品、毛布など日本の雜貨品の南方進出の素晴らしかつたことをまざまざと見せつけられた、街の物價は上陸直後より四、五割高であるがわが軍政部の低物價政策で一切の物價は一應現在價で釘付けされてゐる、人口は續々增加し軍政部は今や全く治みどろだ

事務所には毎日一日中いろいろと陳情に來る住民達の應接に忙しく一應親切に話をしてゐるがこれがほとんど悉にもつかないことばかりで係員はげだくだくだ

戰爭當時何處に潜つてゐたかと思はれた子供達がぞろぞろ街に現れて兵隊さんと遊んだり道を通ると『今日は』と呼びかけ擧手の禮をする、小學校はすでにパレンバン州で約六十校、パレンバン市では十一校中八校が開校、就學兒童も五百餘名あり、男女共學である『古か代』『愛國行進曲』など巧な日本語で唄ひ『アイウエオ、カキクケコ』の聲が路地から漏れて來るのもほゝましい、一方マレー語新聞シナル、マタハリ（輝く太陽）が發行されマレー語の日本語字典や小學校用敎科書も刊行されてゐる、また宣傳班では市民に娛樂を與へるためオリエンタル劇場を『ニッポン』劇場と『JAHAJA』劇場──を『輝やく劇場』と改稱、毎夜午後九時（日本時間）から『インドネシヤ劇團』がわが指導のもとに劇、レヴュー、音樂などを開演してゐる

演技に感激して來ると賞讃の喝采が飛び舞台へ雨のやうに賽錢が飛ぶあたり舞台と觀客が渾然一體となつて一夜を樂しむ和やかさだ、すでに砲聲絕え常夏のパレンバン上空は軍用機の訓練、街の軒には日の丸が飜へる、戰爭のないところでなによりの樂しみは海外放送がラジオから流れて大東亞戰爭の戰況に聽入るときだ

本社寄託獻金

十五日扱

國防獻金　軍陸

國防獻金　軍海

皇軍慰問金

監視隊

九軍神顯彰金

▲二十五圓京城鍾路公立……

▲總計金九十三萬一千七百二十八圓廿一錢也

文化　半島の徵兵制と文化人（8）

御國の子の母に

崔貞熙

（氷田春水氏筆）

空がもつと靑いやうな氣が致します。窓から見える若葉の枝々が風もないのにきらきらゆれてゐます。大きな聲を出して歌つて見たいのです。天にとゞくまで手を伸ばして萬歲を唱へたいのです。この感激と感謝の聲をどう表現かずに答へることと思ひます。

……得られませうか。

五月九日、この日から私は誰が何といつても危かしい姿勢など作つて見せない自信を持つてゐます。少しのすき間もなく、充ちてゐるからです。隅から隅まで少しの距たりも曇りもなしに心が晴れてゐるからです。少しの後めたさもなしに人の前でも友達の前でも皇國臣民としての信念を持つやうになつたからです。

これからの私は子供に『僕、戰爭に征つて死んでもお母さん泣きませんか』と聞かれる時、まごつかずに答へることと思ひます。

『お母さん、お金がなくても、お父さんがなくても、僕兵隊さんになりますか』と聞かれるとしても、私はもう暗い顏をせずに、ほがらかに自信と勇氣を持つて對してゆけると思ひます。

いままでの私は子供に、戰爭へいつて死んでもいゝかと尋ねられる時、子供の死ぬことを恐れるだけのことでまごついたのではありません。お金がなくてもお父さんがなくても兵隊さんになれるかと問はれた時、子供がかはいさうで暗い顏をしたのではありません。子供の待つ希望がはたされるかどうか、それが私にはおぼつかなかつたからです。

もう私は何もいはずにお國のためになる女になります。お國の歷史を作る子供のための準備を致します。